

名立まちづくり協議会 会報

2022年9月9日発行

まち協だより

【みんなにありがとう！

2022夏まつり報告号】

No.28



夏まつりから赤とんぼへ…

気がつけば赤トンボが飛ぶ季節になりました。

赤トンボは夏から秋への変わりを告げる使者なのかもしれません。

2022 夏まつり・夕陽イベントでは五穀豊穡を祈って「山幸」を舞っていただきました。

秋の豊作を祈りつつ、“2022 ふるさと名立・夏まつり”を振り返ることにします。



□新しい形の“2022 夏まつり”

この2年間は新型コロナウイルス感染症のために“名立まつり”は中止とさせていただきます。

残念ながら今年もその収束の気配はありませんでしたが、コロナ禍の中でもみんなで楽しめることはできるはず…と、コロナ対策と猛暑対策を講じながら、これまでとは違った形の“夏まつり”として、3年ぶりの開催になりました。

ということで、これまでのような「お神輿ワッショイ！」で地域をつなぐのではなく、4地区ごとの特色や歴史、文化、伝統などを活かした地域独自のお祭り(前夜祭)で地域をつなぐとともに、2022 ふるさと名立・夏まつり(以下、「2022 夏まつり」)のフィナーレとして海上花火大会と本まつりを実施しました。

□4 地区個性豊かな前夜祭

“前夜祭”とありますが、本まつりの“前の夜”ということではなく、本まつりの前に4地区でそれぞれの地域の特色、歴史、文化、伝統等を活かした内容で、各地区が様々な趣向を凝らして実施していただきました。

《上名立夏祭り》8月7日(日)17:00～花立温泉ろばた館駐車場

前夜祭のトップバッターは上名立夏祭りでした。

そのオープニングイベントとして折平芸能保存会のみなさんから悪魔祓いや疫病退散を祈願する獅子舞を舞っていただきました。



会場ではフリーマーケットや綿あめ無料配布が行われたほか、ろばた館隣接の旧上名立小学校グラウンドでちびっこ花火大会もあり、ちびっこたちの歓声がかき立てられていました。

《下名立地区・納涼宝田縁日》8月14日(日)16:00～宝田小学校駐車場

雨予報で1時間繰り上げての開始になりましたが、それでもいつ降ってもおかしくないような空模様にもかかわらず、開始早々から多くのみなさんが来場されていました。



残念ながら途中2度の雨に降られ、予定されていた射的は中止になりましたし、LED宝田タワーやアイディア提灯も“次回のお楽しみ”となってしまいましたが、地元折居のそばは売り切れでしたし、キッチンカーにも多くのみなさんが並ぶほどのにぎわいをみせていました。

《北部地区・盆踊り大会》8月14日(日)18:00～名立地区公民館グラウンド

北部地区は開始直前から雨が降り始め、会場をグラウンドから体育館下ピロティに移動して行いました。



雨はその後も降り続いたため、平和を祈る灯の点灯やキャンプ

ファイヤーは中止になりましたが、それでも子ども広場ではお菓子釣りや輪投げに多くのちびっこが集まっていた。最後は盆踊りや昔懐かしのフォークダンスの輪が広がっていました。

《不動地区ふるさと夏まつり》8月15日(月)16日(火)不動地区一帯

4地区前夜祭の最後は「第31回不動地区ふるさと夏まつり」です。

「第31回」からおわかりのように、不動地区では不動地区の活性化、振興を図る目的で30年以上も地域独自で夏まつりを実施してきていますので、そのことからすれば“前夜祭”という冠や意味合いをつけさせていただくことにご理解とご協力をいただいた不動地区のみなさんには厚くお礼を申し上げたいと思います。



不動夏まつりは例年同様、15日、16日の2日間の開催で、15日9:30からまだ雨が降る中での川あそびから始まりました。

雨で心配された川の濁りや増水もなく、参加者は水着着用の完全装備でニジマスやハヤなどがいそうな岩の隙間に両手を差し込み、全身ずぶ濡

れになりながら獲物を追いかけていました。そして、15 日夜には盆踊り大会と子ども花火がにぎやかに行われ、16 日には日中は大雨でしたが、夜には“奇跡の晴れ間”に恵まれ、向山大花火大会が盛大に行われました。

こうして 4 地区の前夜祭が終わり、いよいよ 2022 夏まつり・本まつりです。

□2022 夏まつり・本まつり～海上花火大会

ところが、ここでまた天候に悩まされる事態が発生してしまいました。

前日のどの予報も 20 日は雨予報になってきたことから、急きょ屋外で実施するちびっこ広場と夕陽イベントは 21 日に順延することにして、海上花火大会のみ予定どおり 20 日に実施することで準備を進めました。ところが、日中の大雨で多くのみなさんから「花火あるの!？」というお問い合わせをいただく結果になり、大変ご迷惑をおかけしました。来年以降はもっと細やかな情報発信に心がけたいと思います。

《海上花火大会》8 月 20 日(土)20:00～名立漁港西ふ頭

夕方から雨が上がり、無事に 41 プログラム、合計 230 発の花火が名立の海の上を彩りました。

直前までの雨でいつもより観客は少なかったようですが、それでも雨上がりにもかかわらずお出でいただいたみなさんはうみてらす名立の芝生広場から 3 年ぶりの海上花火を楽しまれていました。



《本まつり・ちびっこ広場～夕陽イベント》8 月 21 日(日)15:00～うみてらす名立芝生広場ほか

8 月 7 日から始まった 2022 夏まつりも最終日を迎えました。

この間、数度の雨に見舞われ、計画どおりに実施できないこともありましたが、「終わりよければすべてよし」との思いでもうひとがんばりです。

幸いこの日は雨の心配はなさそうで、多くのボランティアのみなさんのご協力をいただき、午後 3 時、ちびっこ広場のオープンです。



前夜祭でも実施されていた水ヨーヨー、射的に加え、ちびっこたちには風揚げとスイカ割りにも挑戦してもらいましたが、海からの風を受け、気持ちよさげにカイトが天高く舞っていました。

そして、いよいよ 2022 夏まつり最後のイベント、夕陽イベントの始まりです。

夕陽イベントも含め、本まつりではうみてらす名立様のご理解とご協力をいただきましたが、とりわけ夕陽

イベントでは芝生広場のあざやかな緑と燃えるような夕陽の赤とのコントラストで最高の舞台となりました。



糸魚川吹奏楽団

名立里神楽
(上) 獅子舞 (下) 山幸

(上) 名中ソーラン
(下) 少年名立太鼓

午後 5 時、糸魚川吹奏楽団の華やかな演奏で開幕した夕陽イベントは、その後、時間を追うごとに夕陽が色濃くなってきます。

そして、フィナーレの名立太鼓連中の「名立の四季」(下写真)での演奏が終わるとほぼ同時に夕陽が海に沈んでいき、まさしく夕陽イベントにふさわしいドラマチックな幕切れを迎えることができました。



こうして 2 週間に及ぶ 2022 夏まつりは関係者のみなさんのご理解とご協力、そして、地域のみなさんの熱い思いや願い、祈りなどに支えられ、無事に終了することができました。

みなさんに心から厚くお礼申し上げます。

夏まつり終了後の 9 月 1 日に開催した 2022 夏まつり実行委員会では 4 地区前夜祭の意義やコロナ対策、猛暑対策について評価された反面、本まつりの実施運営体制や荒天時の海上花火大会の開催有無の周知方法などについてのご指摘がありました。

今はまだ来年のことを語るには早すぎるのかもしれませんが、今回、2022 夏まつりに関わってくださった多くの方がまた同じ思いや願いで集い、そしてその輪がもっともっと広がっていくといいですね。

みなさん、本当にありがとうございました。

【編集・発行】 名立まちづくり協議会 会長 三浦 元二
上越市名立区名立大町 200-1 (名立地区公民館内)
担当: 金子 僚子、石井 三千代
☎: 025-537-2182 FAX: 025-546-7041
✉: matikyo-nadati@bz04.plala.or.jp
ホームページ URL: nagatatsu.com



まち協 HP